

令和6年能登半島地震における職員派遣

愛知県では、地震発生直後から、愛知県被災地域支援対策本部を立ち上げ、県職員、警察、消防、市町村職員、医療・福祉関係者など延べ約6,000人を派遣するとともに、被災者の受入れ、物資の提供など、県一丸となって被災地の支援を実施。

交通系ICカードを利用した避難者の把握の取組み
(志賀町の避難所にて)



愛知県基幹的広域防災拠点の整備

○場所

豊山町青山地区

○規模

19.2ha

